

当たり前であること

山添村立山添中学校二年

大矢 花奈乃

私は毎日水を飲んでいいる。そして毎日、何リットルもの水を人は使っている。しかし、全ての水を有効に使えているわけではない。だから私たちは、この地球上の限られた水を無駄にすることなく、有効に使う必要がある。

私は今年の一月一日に起きた能登半島地震で、たくさんの方が断水で困っているのをニュースで目にした。トイレの水が流せないため、井戸水をくんだりして、とても人々が不自由そうに過ごしていた。

そして、被災地に給水車が来ると被災した人たちは喜んで水をペットボトルに水を入れていた。しかし約千リットルの水が一時間でなくなってしまった。少しずつしかない水があるだけで人々が「うれしい」「ありがたい」と喜んでいいるのが、とても印象的だった。

それを見て、私たちが当たり前前に毎日水を使

っていることが、どれだけ幸せでありがたいことかを実感させられた。

だが時には水は人に被害を与えることもある。今回の地震でも津波が来て亡くなった人や家が流されてしまった人がいる。大雨で土砂くずれが起きたり、河川が氾濫したりして人は困ってしまふ。必要でありながら私たちの生活を妨げるとても厄介な存在でもある。

この水と私たちは上手く生きていかなければいけない。

私は節水をしたいと思っている。そして心がけている。だけれど、なかなかすることができない。例えば、お風呂に入るとき、寒くて頭を洗っているときにもつい、シャワーを出しっぱなしにしてしまっていることがある。他にはご飯を食べた後、食器をきれいにして洗うようにすると使用する水の量を減らすことが出来るから、先に食器の汚れを水で流している。だけれど汚れを流すときに、大量の水を使っていて、意味がなくなってしまう

いる。自分も何も考えずにしているわけではないのに節水をすることができなくて少しくやしい気持ちがある。だから、「節水を心がけている」ではなく、

「節水をしている。」

と自信を持って言えるように、ほんの少しのことでも何か行動できるようにしたいと思う。

そして少しでも水を無駄にしないように、必要なときに必要な量だけ使い、何かに再利用をすることが出来る。例えば、浴槽のお湯を洗濯に利用したりすることが出来る。また、断水しているときには、トイレにお湯を使用することが出来る。これはあまりしている人はいないが、とても水を有効に使用していて、無駄がないと思う。

私たちは毎日当たり前に水を使用している。でもこれは決して当たり前ではなく「特別」で、「幸せ」で「ありがたい」ことで、世界では、お腹をこわすぐらい汚れた水を飲んでいる人もいる中で、私たちは本当に恵まれて

いるなと思う。

だからこそ、きれいな水をたくさん使っている分、私たちが環境を守っていくべきだと思う。知らないうちに今までも、これから環境を汚してしまっていることがあると思う。だけれどそれは自分たちのためにも無くしていけると良いなと思う。

私たちが生きていく上で必要な水が自分に今、当たり前前のようにあることに感謝して、水を大切に、そして水と共に生きていくことを大切にしたいと思う。